

第1章 計画の概要



1. 計画の趣旨

「国民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくむ」ことを目的として、平成17年6月に食育基本法が制定されました。益田市では益田市食育推進計画を平成21年12月に策定し、これまで3回の計画の見直しを経て市をはじめ様々な団体や組織、事業者において食育※に取り組んできました。

国においては令和3年3月に「第4次食育推進基本計画」、県でも令和5年3月に「島根県食育推進計画（第四次計画）」が策定され、食育に関する施策が推進されています。

益田市においても、これまでの益田市食育推進計画の基本理念、基本方針を踏まえ、食育の進捗状況・社会情勢の変化等に応じ、より一層総合的かつ計画的に食育を推進するために、「第4次益田市食育推進計画」（以下「第4次計画」という）を策定します。

※ 食育は、生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものと位置付けられるとともに、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てるものです。

2. SDGsの考え方を踏まえた食育の推進

SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。

本市では、国連の目指す「誰一人取り残さない」という基本理念と17の目標の方向性を継承しつつ、本市の地域課題を踏まえた「益田市版SDGs」を設定しました。

第4次計画においても、食育推進の目標ごとに関連する「益田市版SDGs」を掲載し、取組を推進することとしています。

【益田市版SDGs】

国連SDGs	益田市版SDGs（益田市における目標）	
		(1)地域共生社会を実現しよう 一人ひとりが抱える問題に寄り添い、市民みんなで地域共生社会を実現するまち
		(2)地産地消でより豊かな生活を 地産地消により、生活の質が向上するまち

国連 SDGs	益田市版 SDGs（益田市における目標）	
 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	 <p>心身の健康と安心できる生活をみんなに</p>	<p>(3)心身の健康と安心できる生活をみんなに 生涯を通じて心身ともに健康で、子どもから高齢者まで安心して生活ができるまち</p>
 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	 <p>子どもも大人も一緒に成長しよう</p>	<p>(4)子どもも大人も一緒に成長しよう 地域の中で子どもたちの「生きる力」を育み、大人も一緒に成長できるまち</p>
 <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	 <p>「自分らしく」を尊重しよう</p>	<p>(5)「自分らしく」を尊重しよう 性差に関わらず、誰もが自分らしく生活できるまち</p>
 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	 <p>豊かな水辺環境を守ろう</p>	<p>(6)豊かな水辺環境を守ろう 高津川を始めとした美しい水辺環境がいつまでも残るまち</p>
 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	 <p>自然を活かしたエネルギーでクリーンなまちに</p>	<p>(7)自然を活かしたエネルギーでクリーンなまちに バイオマスなどの自然を活かしたエネルギーが供給できるまち</p>
 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	 <p>「このまちで働きたい」をかなえよう</p>	<p>(8)「このまちで働きたい」をかなえよう 地域を支える産業が安定して営まれ、「このまちで働きたい」をかなえるまち</p>
 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	 <p>時代に適応した産業・通信基盤をつくろう</p>	<p>(9)時代に適応した産業・通信基盤をつくろう 先端技術を活用し、新たな時代に適応できる産業基盤や通信基盤が整備されたまち</p>
 <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	 <p>平等なまちを実現しよう</p>	<p>(10)平等なまちを実現しよう 互いの人権を尊重し、誰もが暮らしやすい社会が実現するまち</p>
 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	 <p>魅力ある地域の暮らしをいつまでも</p>	<p>(11)魅力ある地域の暮らしをいつまでも 地域の魅力を活かし、安心して住み続けられるまち</p>

国連 SDGs	益田市版 SDGs（益田市における目標）	
 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>		<p>(12)資源ロスの少ないまちに 限りある資源を有効に活用した、ロスの少ないまち</p>
 <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p>		<p>(13)自然災害に強くしなやかなまちに 平時から自然災害に備え、災害が起こっても強くしなやかに対応できるまち</p>
 <p>14 海の豊かさを 守ろう</p>		<p>(14)豊かな日本海を守ろう 美しい日本海と、その恵みを活かした水産業が受け継がれるまち</p>
 <p>15 陸の豊かさも 守ろう</p>		<p>(15)豊かな森林と美しい田畑を守ろう 豊かな森林・美しい田畑の景観と、その恵みを活かした農林業が受け継がれるまち</p>
 <p>16 平和と公正を すべての人に</p>		<p>(16)公平・公正と安心・安全をみんなに 公平・公正で開かれた行政運営のもと、誰もが安心・安全を感じられるまち</p>
 <p>17 パートナーシップで 目標を達成しよう</p>		<p>(17)協働で目標や課題に取り組もう 市民みんなの協働により、あらゆる目標や課題に取り組むまち</p>

3. 計画策定の経過

(1) 益田市食育推進会議の開催

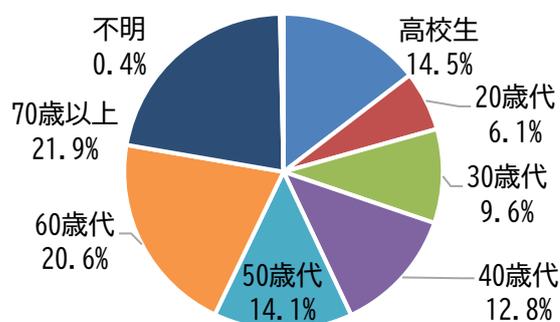
第4次計画の策定にあたり、益田市食育推進会議を3回、益田市食育推進連絡会議を3回開催しました。この会議の開催までに市役所内の食育関係課の担当職員によるワーキンググループ会議を5回実施し素案の検討を行いました。

(2) 市民アンケートの実施

第3次計画の評価及び第4次計画の策定のための基礎資料を得ることを目的として下記の通り「益田市食育推進に関するアンケート」を実施しました。

調査時期	令和5年2月6日～令和5年2月28日
調査対象者	益田高等学校2年生及び20歳以上の市民 1,993人 (内訳) 高校生については133名を対象とし、20歳以上の市民については20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の階層に分け、益田市住民基本台帳より階層ごとに310人抽出しました。
配布・回収方法	高校生については学校を通じて配布・回収を行い、20歳以上の方については郵送により配布、郵送またはインターネットを通じて回収しました。
回答状況	有効回答数 853件 回答率 42.8%

○回答者の年代



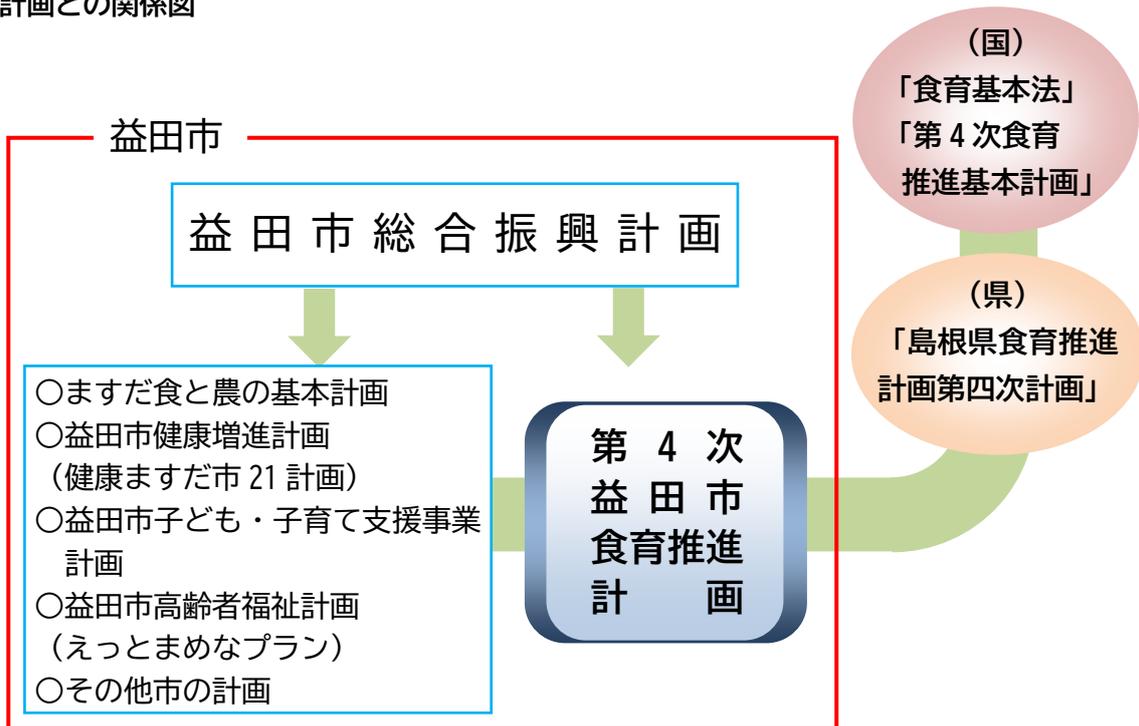
(3) パブリックコメントの実施

令和6年1月5日から1月25日までパブリックコメントを実施し、1人から4件のご意見をいただきました。

4. 計画の位置づけ

第4次計画は、益田市の食育の推進を図るための基本的な考え方と具体的な施策の展開を示すための計画として策定し、食育基本法第18条第1項に基づく市町村食育推進計画として位置づけます。その実施にあたっては、「ますだ食と農の基本計画」、「益田市健康増進計画(健康ますだ市21計画)」及びその他市の計画並びに「食育推進基本計画」、「島根県食育推進計画第四次計画」と整合性を図ります。

各計画との関係図



「食育基本法」抜粋

第十八条 市町村は、食育推進基本計画（都道府県食育推進計画が作成されているときは、食育推進基本計画及び都道府県食育推進計画）を基本として、当該市町村の区域内における食育の推進に関する施策についての計画（以下「市町村食育推進計画」という。）を作成するよう努めなければならない。

5. 計画の期間

計画期間は令和6年度から令和11年度までの6年間とし、施策の成果や社会情勢の変化に対応するため、計画期間中であっても必要に応じて随時見直しを行います。

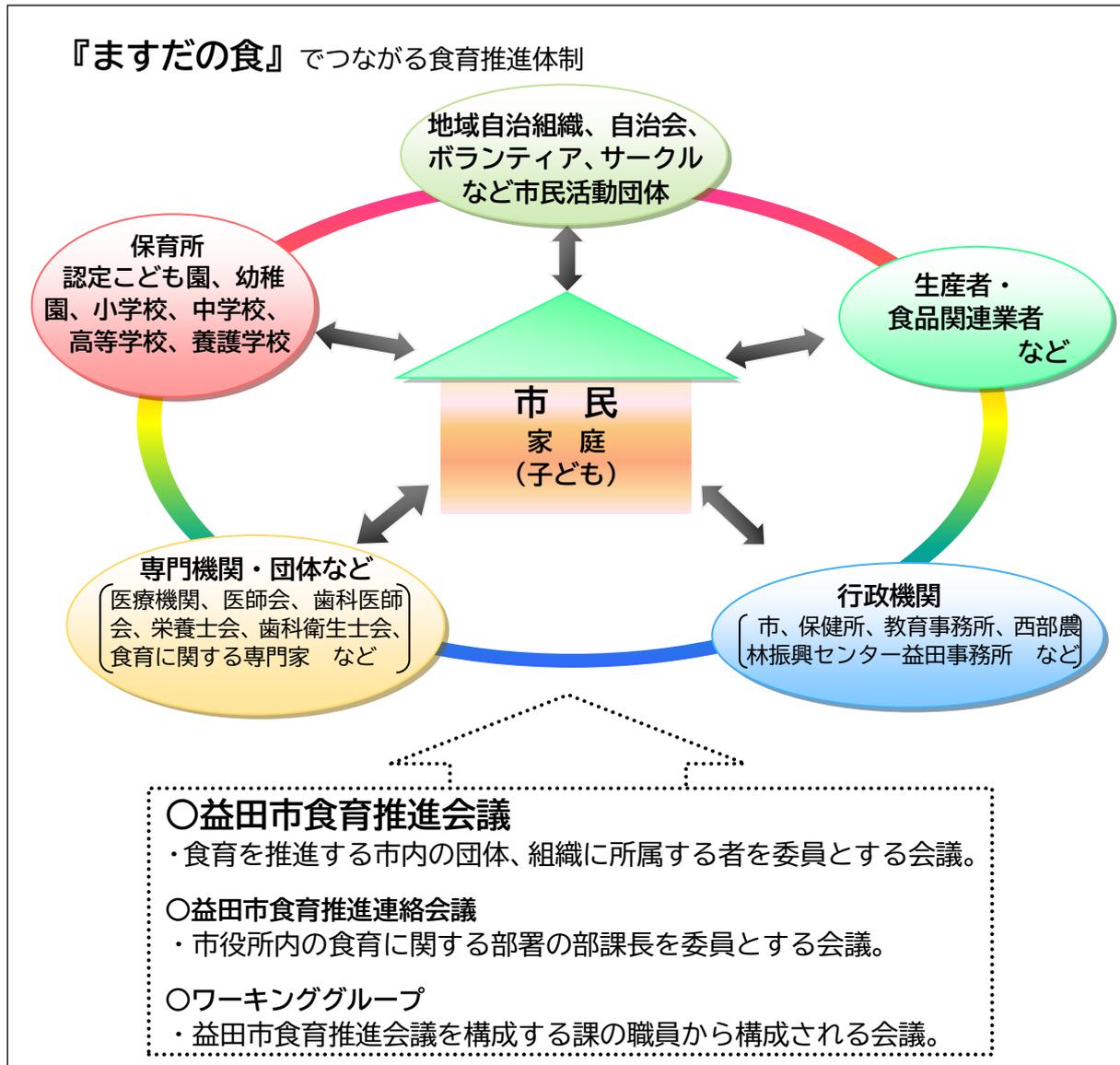
（島根県食育推進計画第四次計画の計画期間が6年間であることから、県の計画の動向を踏まえ市の計画を策定するため、第4次計画から6年間の計画とします。）

期間 (年度)	H21～H25 (2009～2013)	H26～H30 (2014～2018)	H31～R5 (2019～2023)	R6～R11 (2024～2030)
計画	益田市 食育推進計画 見直し	第2次益田市 食育推進計画 見直し	第3次益田市 食育推進計画 見直し	第4次益田市 食育推進計画

6. 計画の推進体制

第4次計画の実施にあたっては、市民や各種団体、民間事業者などと行政との協働により食育の取組を推進していきます。

また、「益田市食育推進会議」と「益田市食育推進連絡会議」において、食育を効果的に取組んでいけるよう、協議・調整を行います。



7. 計画の進行管理と評価

第4次計画に実効性をもたせるために、計画の目標の達成状況については、市民アンケートや関連する各計画の評価などで現状を把握します。

また、「益田市食育推進会議」及び「益田市食育推進連絡会議」において、取組の進行状況の確認・評価を行い、さらに効果的な食育の推進を検討します。

これらにより、より実践に向けた計画・取組の展開を図っていきます。